

出 前 授 業

所 属 (学部・学科)	人文科学部 表現文化学科		
タ イ ト ル	絵巻物を見る、きく、ふれる ―日本のアニメーションの原点―		
講 師	川崎 剛志		
日 付	平成28年7月20日	場 所	盈進高等学校
対 象 者	高校1年生	参加人数	19名
(概 要)			
なぜ、絵巻物は日本のアニメーションの原点とよばれるのか。平安時代末期に制作された『信貴山縁起絵巻』の複製を開きながら、静止画像を動かす書物のしかけと脳のしくみを探究しました。			

所 属 (学部・学科)	人文科学部 表現文化学科		
タ イ ト ル	絵巻物を見る、きく、ふれる ―日本のアニメーションの原点―		
講 師	川崎 剛志		
日 付	平成28年10月4日	場 所	倉敷南高等学校
対 象 者	高校1・2年生	参加人数	54名
(概 要)			
なぜ、絵巻物は日本のアニメーションの原点とよばれるのか。平安時代末期に制作された『信貴山縁起絵巻』の複製を開きながら、静止画像を動かす書物のしかけと脳のしくみを探究しました。			

所 属 (学部・学科)	人文科学部 表現文化学科		
タ イ ト ル	「身体で伝える」		
講 師	岡本 悦子		
日 付	平成28年6月10日	場 所	兵庫県立神戸高校体育館
対 象 者	兵庫県立神戸高校	参加人数	2年生28名
(概 要)			
「伝える力」に必要なコミュニケーション能力とプレゼンテーション能力の向上を目的として、身体表現を通じたワークに取り組んで頂きました。体育祭でダンスリーダーを務める皆さんは意欲的で飲み込みも早く、他者を引き込み、また魅力的に働きかける力量を発揮なさっていました。			

所 属 (学部・学科)	人文科学部 実践英語学科		
タ イ ト ル	通訳・翻訳の世界へようこそ		
講 師	武部 好子		
日 付	平成28年11月22日	場 所	愛媛県立三島高等学校
対 象 者	高校2年生	参加人数	18名
(概 要)			
110分間の授業の前半は実際のニュースを英語で視聴しながら声を出して日本語への通訳に挑戦して頂いた。後半は英語の絵本を全員で音読し、ペアになって日本語の擬音語を意識しながら翻訳作業を行った。生徒達の反応はよく、クラスの最後には生き生きと発表して下さった。			

所 属 (学部・学科)	人文科学部 総合歴史学科		
タ イ ト ル	歴史学入門		
講 師	吉本 勇		
日 付	平成28年12月2日	場 所	香川県立高松北高等学校
対 象 者	高校1年生	参加人数	15名 (50分×2)
(概 要)			
大学で学ぶ歴史学関連科目の内容説明 (ミニ講義を含む)。歴史学科カリキュラムの説明と地域や街の中の歴史遺産の発掘、活用方法の解説および最近流行の古地図や地形図を利用した街歩きの事例や楽しみ方についての解説など。			

所 属 (学部・学科)	教育学部 初等教育学科		
タ イ ト ル	国語の授業をつくってみよう		
講 師	丹生 裕一		
日 付	平成28年7月19日	場 所	岡山県立林野高等学校
対 象 者	1・2年生	参加人数	18名
(概 要)			
小学校第2学年の国語の教科書教材「スイミー」を取り扱って、読む力を育てる言語活動を実演して見せた後、続く場面を対象にして子どもたちが意欲的に取り組むような言語活動のアイデアを図解入りで書き、OHCを用いて交流する体験をさせた。			

所 属 (学部・学科)	教育学部 初等教育学科		
タ イ ト ル	国語の授業をつくってみよう		
講 師	丹生 裕一		
日 付	平成28年12月16日	場 所	岡山県立玉野光南高等学校
対 象 者	1・2年生	参加人数	8名
(概 要)			
<p>小学校第2学年の国語の教科書教材「スイミー」を取り扱って、読む力を育てる言語活動を実演して見せた後、続く場면을対象にして子どもたちが意欲的に取り組むような言語活動のアイデアを図解入りで書き、OHCを用いて交流する体験をさせた。</p>			

所 属 (学部・学科)	教育学部 初等教育学科		
タ イ ト ル	理科好きな子どもを育てるためには ―予想を立てて考えよう―		
講 師	福井 広和		
日 付	平成28年9月7日	場 所	広島県立尾道東高等学校
対 象 者	全学年	参加人数	31名
(概 要)			
<p>前半は就実大学・教育学部・初等教育学科の紹介、保育士・幼稚園・小学校教諭の資格と仕事、採用試験についての説明を行った。後半は理科教育を例にとり、子どもを教えることの難しさと面白さ、どうすれば理科好きな子供を育てることができるかについて演習形式で紹介した。</p>			

所 属 (学部・学科)	教育学部 初等教育学科		
タ イ ト ル	理科好きな子どもを育てるためには ―見れども見えず―		
講 師	福井 広和		
日 付	平成28年11月18日	場 所	香川県立高松北高等学校
対 象 者	2年生	参加人数	48名
(概 要)			
<p>各回 50 分間の授業を 24 名ずつ 2 回行った。前半は就実大学・教育学部・初等教育学科の紹介、保育士・幼稚園・小学校教諭の資格と仕事、採用試験についての説明を行った。後半は理科教育を例にとり、人は物事を見ているようで見ていないことを例示し、どうすれば見るようになるか考えた。</p>			

所 属 (学部・学科)	教育学部 初等教育学科		
タ イ ト ル	理科好きな子どもを育てるためには ―理科教育の目的とやりがい―		
講 師	福井 広和		
日 付	平成28年12月17日	場 所	岡山県立玉野光南高等学校
対 象 者	1年生	参加人数	29名
(概 要)			
土曜活用授業として、大学の学部・学科に対する意識を高めるためのガイダンス授業を行った。前半は就実大学・教育学部・初等教育学科の紹介、保育士・幼稚園・小学校教諭の資格と仕事、採用試験についての説明を行った。後半は理科教育の目的とやりがいについて講演した。			

所 属 (学部・学科)	教育学部 初等教育学科		
タ イ ト ル	わくわくヴァイオリン体験		
講 師	安久津 太一		
日 付	平成28年10月13日	場 所	岡山市立岡山後楽館高等学校
対 象 者	1年生	参加人数	12名
(概 要)			
リコーダーやギター、ヴァイオリンをはじめとする多様な楽器を用いたアンサンブルの授業を实践した。教員志望の高校生は積極的に音楽活動に参加しており、和やかな雰囲気の中、大学の授業や卒業後の進路、入試に関する質問も多く見られた。			

所 属 (学部・学科)	教育学部 教育心理学科		
タ イ ト ル	性教育講演会 ―いのちの授業―		
講 師	郷木 義子		
日 付	平成28年11月30日	場 所	並木学院福山高等学校
対 象 者	生徒30名	参加人数	生徒28名、教職員9名
(概 要)			
性教育の中でも基本的に最も大切な「いのちの授業」を行った。それを基に高校生であることから性感染症の問題にも触れた。簡単な実験に生徒も参加しながら性の問題を一緒に考え、これからどのような行動をとることが望ましいのか講義を行った。			

所 属 (学部・学科)	薬学部・薬学科		
タ イ ト ル	「知ってほしい！薬物乱用の怖さ」		
講 師	小野 浩重		
日 付	平成28年5月21日	場 所	吉備高原学園高校
対 象 者	高校2年生	参加人数	120名
(概 要)			
<p>薬物乱用の弊害、精神的・身体的依存、脳内報酬系と依存性薬物の作用部位のほか、昨今話題になっている危険ドラッグの代表的な有害成分や化学構造、健康被害・症状等について触れ、最後に「薬物乱用がもたらす悲惨な結末、薬物のない学生生活のために」で講義を締めくくった。</p>			

所 属 (学部・学科)	経営学部 経営学科		
タ イ ト ル	お金の役割と経済のしくみ		
講 師	大崎 泰正		
日 付	平成28年7月20日	場 所	盈進高等学校
対 象 者	2年生	参加人数	約40名
(概 要)			
<p>市場とお金の働きが人々の分業を成立させ、社会を豊かにする。市場の機能を、芦田川下流・草戸千軒町の歴史や現在の福山地方卸売市場の事例により説明。お金は社会への貢献のあかしであり、社会からの恩恵の引換証である。自分の比較優位なことを見つけることが重要。</p>			

所 属 (学部・学科)	経営学部 経営学科		
タ イ ト ル	お金の役割と経済のしくみ		
講 師	大崎 泰正		
日 付	平成28年11月10日	場 所	兵庫県立赤穂高等学校
対 象 者	2年生	参加人数	約30名
(概 要)			
<p>市場とお金の働きが人々の分業を成立させ、社会を豊かにする。市場は万能ではないが、それに代わるものはない。人々の先行き見通しが好転し「借金」が増えると、お金の量が増える。しかし人々の期待に働きかけることは容易ではない。またお金が増えすぎてもバブルや格差を生む。</p>			

所 属 (学部・学科)	経営学部 経営学科		
タ イ ト ル	観光学入門		
講 師	八巻 恵子		
日 付	平成28年10月20日	場 所	島根県立津和野高等学校
対 象 者	1・2年生	参加人数	39名
(概 要)			
<p>大学で学ぶ観光学の概要を説明し、日本の旅と観光について、歴史、社会、政策、国際交流、異文化理解の観点から概観した。とりわけ経営学領域からは、地域を売るためのプロモーション戦略、観光産業の企業経営やサービスについて学ぶことができることを説明した。</p>			

所 属 (学部・学科)	経営学部 経営学科		
タ イ ト ル	地域の魅力を伝える 地域とマーケティング		
講 師	加賀美 太記		
日 付	平成28年10月21日	場 所	岡山市立岡山後楽館高等学校
対 象 者	3年生	参加人数	30名
(概 要)			
<p>地域とマーケティングとテーマのもと、ゆるキャラやB-1グランプリといった具体例を紹介するとともに、なぜ地域に注目が集まるのか、そこで求められる取り組みについて経営学や社会学の視角から解説をおこなった。</p>			

所 属 (学部・学科)	短期大学 生活実践科学科		
タ イ ト ル	身近な食品の色とはたらき		
講 師	岡本 己恵子		
日 付	平成28年10月21日	場 所	岡山市立岡山後楽館高等学校
対 象 者	3年生	参加人数	52名
(概 要)			
<p>食品には赤、黄、白、黒、緑など様々な色があるが、それらは私たちの目を楽しませてくれるだけでなく、鮮度を知る目安にもなる。また、近年は食品の色素の生理的効果が明らかにされている。こうした話題も紹介しながら、食事の色のバランスと栄養について話した。</p>			

所 属 (学部・学科)	短期大学 生活実践科学科		
タ イ ト ル	「正多面体の世界」		
講 師	原田 龍宜		
日 付	平成28年12月17日	場 所	岡山県立玉野光南高等学校
対 象 者	高校1年生	参加人数	11名
(概 要)			
<p>10:00～11:30の90分間、当該高校にて上記表題で出前授業を行った。他科目と同時に希望者のみということで少人数ではあったが、玩具を用いて現代の数学の話まで出来た。概ね生徒達は楽しそうに聞いてくれて授業しやすかった。</p>			

所 属 (学部・学科)	短期大学 生活実践科学科		
タ イ ト ル	文学探究 文学碑で探る岡山ゆかりの文学者—与謝野寛（鉄幹）・晶子 岡山の旅を例に		
講 師	加藤 美奈子		
日 付	平成28年9月2日	場 所	岡山県立岡山城東高等学校
対 象 者	3年生	参加人数	44名
(概 要)			
<p>同校三年生の「文学探究」講座の一環として、郷土ゆかりの文学者を知るきっかけとなる内容を提供したいと考え、与謝野寛（鉄幹）・晶子の岡山への旅を例に文学碑を調査のポイントとして紹介した。夫妻の訪問地・旅詠を岡山県全図とともに確認しながら、郷土資料の活用例を示した。</p>			

学外組織との連携・協働

主 催	倉敷考古館、就実大学人文科学部		
タ イ ト ル	倉敷考古館と就実大学人文科学部との連携協定締結		
実 施 者	倉敷考古館長、就実大学人文科学部長		
日 付	平成 28 年 10 月 15 日	場 所	倉敷考古館
対 象 者	倉敷考古館、人文科学部	参 加 人 数	8 名
概要（本文・写真・図等）			
<p>公益財団法人倉敷考古館と就実大学人文科学部間において、平成 28 年 10 月 15 日連携協定を締結した。調印は、大原美術館副館長・倉敷考古館理事虫明優氏と就実大学長片岡洋行教授の立ち合いの下で、考古館長香川俊樹氏と人文科学部長松尾直昭によって、倉敷考古館において行われた。</p> <p>協定は相互の活動の充実を図るもので、館側からは、所蔵品の整理、分類と所蔵品のデータベース化の作業などに大学側の技術と人材の協力を求め、大学はこれに応えるが、このことが、大学にとっては、作業に参加する学芸員資格取得希望の学生たちの貴重な現場体験を確保することになり、専門職を希望する学生達の現場での生きた専門知識の修得に繋がるものである。このような相互の活動の充実を目標にして連携協定が締結された。以上の協力内容に加えて、倉敷の観光客の多様な国際化に対応した所蔵物の多言語化サービスを、展示品の紹介内容の翻訳のみならず、観光客の通訳ガイドボランティアとしても実施する計画もある。この場合には、本学の外国人教員と、実践英語学科の学生に協力をもとめることになるであろう。さらに、考古館には未整理の書物も多数所蔵されていて、この整理も課題である。この課題を解決するために、司書資格取得希望の学生たちの協力を得れば、考古館所蔵図書も整理でき、学生に対しては、現場体験を通じた専門知識修得の貴重な体験を提供することが可能であろう。</p> <p>調印式の内容は、山陽新聞社 10 月 16 日版に紹介され、倉敷ケーブルでは当日放映された。実践教育を通して観光客や市民の方々に喜ばれ、評価されるようになれば、学生のやりがいや充実感につながるため、高等教育機関にとって、実に有意義な教育的効果の高い協定だと思える。考古館側にとっては、市民へのサービスの充実と、増加している外国人入館者への多方面でのサービスによって、地域への貢献を図ることのできる協定であり、相互に有益なものであるといえよう。倉敷考古館は、もともとは江戸期に利用されていた蔵を改装したもので、美観地区に 1950 年に開館した。大原グループ運営の施設である。古代吉備をテーマにして、県内の発掘等によって出土した貴重な土器、鉄器、埴輪等の出土品を多く所蔵し、展示している。</p> <p>この協定が、土井通弘教授と中西裕教授の尽力によって成立したことを、感謝したい。</p>			
			

主 催	産業考古学会、岡山近代化遺産研究会		
タ イ ト ル	近代化遺産とその文化的景観（シリーズ講演会）		
実 施 者	人文科学部総合歴史学科、櫻田美津夫		
日 付	平成 28 年 7 月 16 日 平成 29 年 3 月 11 日	場 所	岡山県立図書館多目的ホール
対 象 者	一般	参 加 人 数	80 名程度(平 28. 7. 16)

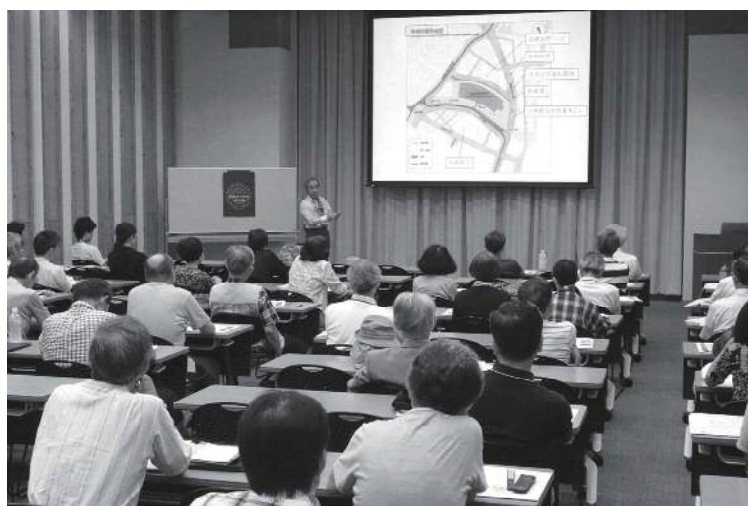
概要（本文・写真・図等）

このシリーズ講演会の共催は、岡山県立図書館、就実大学史学会、吉備国際大学となっており、岡山県、教育委員会、新聞各社、放送各局など多数の後援を得ている。また、福武教育文化振興財団からの助成も得られた。

櫻田は第 1 回の講演を担当した。併せて、第 5 回のシンポジウムのパネリストをも務める予定である。

7 月 16 日の第 1 回公演では、出島の歴史から説き起こし、出島復元を可能にした資料について詳しく解説した。(1)発掘調査の結果、(2)長崎市内の戦争を生き延びた類例建物の存在、(3)オランダ商館長日記のような文献史料、(4)復元予定の時代より少し後の時代の古写真、(5)間取りや配置を示す図面、(6)オランダ人が造らせて本国に持ち帰った出島の模型、(7)川原慶賀を代表とする日本人絵師による絵画など、奇跡的と言ってよいほど多様な資料が揃っていたことを強調した。最後に蘭学の歴史的意義を説きつつ、出島自体は反射炉でも造船所でも紡績工場でもないが、西洋科学・技術の日本への移転にとって、つまり日本の近代化にとって、一種の「中継場」として比類なき役割を果たしたことを示した。また、100 年単位での息の長い景観復元事業からは多々学ぶ点があることを力説した。

なお、この講演の様子は、後援者に名を連ねる oni ビジョンによって、2016 年 7 月 23 日午後 5 時より 90 分間放映された（放映されたのは櫻田の講演のみ）。



主 催	就実大学教育学部・矢掛町教育委員会		
タ イ ト ル	矢掛町「地域未来塾」事業		
実 施 者	矢掛町教育委員会		
日 付	平成28年8月4日～	場 所	矢掛町公民館
対 象 者	矢掛町内 児童生徒	参 加 人 数	30名
概要（本文・写真・図等）			
<p>就実大学教育学部は、矢掛町教育委員会と「地域未来塾」事業等に関する基本協定を締結しました（写真上は調印式H.28.8.4）。</p> <p>「地域未来塾」事業とは、矢掛町が家庭の経済格差が学力格差に繋がらないよう、放課後の児童生徒への学習支援を行う、町独自の教育政策です。その学習支援員として、本学教育学部学生が協力することになりました。参加学生にとって、教職を目指す学生自身の資質・能力を高め、子どもたちの学習環境や教育施策の実態を知る機会になるなど、貴重な体験の場となっています（写真下は中学生対象タブレット授業（H28.12.12）の様子）。また大学側にとっても、教員養成教育への地域からの要請を知る機会となり、教育実習や学校インターンシップ、教員採用などに向けた良好な関係の基盤づくりにも資することになります。本事業における協力関係の構築と推進が、本学教育学部の目指す地域と連携した教員養成教育のモデルケースとなることを期待しています。</p> <p>なお、調印式の模様は中国新聞（H28.8.9）に、未来塾の様子は山陽新聞（H28.8.24）に、事業概要は矢掛町広報誌「広報やかげ」平成28年8月号（8月17日発行）に掲載されました。</p>			
			
			

主 催	平成 28 年度コドモさんかくゼミ FOR GIRLS 理系っていいかも！未来のリケジョ応援プロジェクト		
タ イ ト ル	もっともっと理科がすきになる実験教室 第 2 回 よく知っている臓器を顕微鏡で見よう！		
実 施 者	洲崎悦子		
日 付	平成 28 年 8 月 24 日	場 所	就実大学薬学部 2 階実習室
対 象 者	小学校 4～6 年生	参 加 人 数	16 名
概要（本文・写真・図等）			
<p>塩田先生が中心となられて、岡山市男女共同参画推進センターさんかく岡山が主催する行事に、協力・実施をした。</p> <p>薬学部女性教員 4 名が、全 4 回の「もっともっと理科がすきになる実験教室」を就実大学薬学部で行ったうちの 1 回を担当した。</p> <p>薬学部 2 階南側実習室に顕微鏡 23(=16+7)台を準備し、以下の内容を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 時間：10:00～12:30 ・ 医療系で一般的染色である HE 染色の体験・・・各自未知標本の染色 ・ 7 種類の組織標本の観察 ・ 7 種類の標本観察を踏まえた上で、自分の未知標本がどの臓器のものであるかを同定 ・ 顕微鏡写真の印刷物に、自由に好きな書き込みを行い、ラミネート加工してオリジナルシートを作製 <p>参加してくれた小学生達は、大変熱心に取り組み、自分達の体やそれを構成する細胞に興味をもってくれた様子であった。</p> <p>また、この内容は、RSK ラジオでも生中継(11:50～5 分間；アナウンサー渡壁さん)された。</p>			

主 催	科学キッズフェスティバル実行委員会（岡山県生涯学習センター）		
タ イ ト ル	身近なもので電池を作ってみよう！		
実 施 者	増田和文、加藤久登、薬学部学生3名		
日 付	平成28年12月11日	場 所	岡山県生涯学習センター
対 象 者	小学生～高校生	参加人数	200名

概要（本文・写真・図等）

12月11日（日）岡山県生涯学習センターにて開催された「科学キッズフェスティバル in 京山祭」（学校、企業、NPO法人などの36団体が出展）に『身近なもので電池を作ってみよう！』をタイトル、「化学電池」をテーマとして出展した。小学1～3年生120名、その保護者80名の計200名が出展ブースを訪れ、スライム電池、レモン電池を作る体験に加え、化学電池の原理を学んだ。特にスライム電池は、スライム作りの面白さが人気で、さらに電池ができることに驚きもあって大変好評であった。電池作りを通して、科学の面白さが伝えられたのではないかと思います。今後もこのような機会があれば参加していきたい。



パンフレット



スライムを作る子供たち



電池の原理を説明するポスター

主 催	津山洋学資料館		
タ イ ト ル	平成 28 年度冬季企画展「山田純造生誕 180 周年記念 海田の医家 山田家の人と学問」への協力企画として、「よみがえる山田家伝来の家伝薬—成分分析の結果と処方再現—」		
実 施 者	洲崎 悦子、齋藤 啓太、佐々木 寛朗		
日 付	平成 28 年 12 月 4 日	場 所	津山洋学資料館
対 象 者	一般	参 加 人 数	約 30 名

概要（本文・写真・図等）

山田家伝来の著明な家伝薬「不換金正気散」「山田吸出膏薬」「虫薬浄腐湯」「家伝海田萬能膏薬」という 4 処方に関する、分析と再現を試みた。

残存していた薬：高速液体クロマトグラフィーとフーリエ変換型赤外分光で分析し、4 処方のどれに相当するかを検討した。

また、講演会当日と冬季企画展中、分析結果のポスター展示も行った。

（齋藤）

残存していた処方：処方に出てくる生薬を検討して相当する生薬を収集し、処方に従った調剤を行い 4 処方の再現を試みた。講演会当日に再現を実演で示し、また、冬季企画展中、再現薬の展示も行った。

（佐々木）

全体の企画と統括（洲崎）

講演会当日は、山田家当代奥様を含む来館者約 30 名は、とても興味深く聴講して下さり好評を博した。資料館の館長はじめ職員の方々の評価も高かった。さらに、下山元館長は、山田家資料や残存薬の発掘者でもあり、特に喜んでおられた。



主 催	岡山県生涯学習センター・人と科学の未来館サイピア		
タ イ ト ル	親子で学ぼう 望遠鏡操作入門		
実 施 者	就実大学天文部		
日 付	平成28年9月10日	場 所	サイピア
対 象 者	小中学生、保護者	参 加 人 数	21名

概要（本文・写真・図等）

2016年9月10日（土）18：30～20：00、人と科学の未来館サイピアにて、就実大学天文部と岡山県生涯学習センター・人と科学の未来館サイピアの共同イベントとして「親子で学ぼう！望遠鏡操作入門」が開催された。

当日は事前予約された10組約20名の親子が参加された。簡単な天体望遠鏡の仕組みや操作方法の説明のあと、実際に、屈折式の天体望遠鏡の使い方を天文部の学生達やサイピアの方から聞いて操作してみた。あいにく当日は曇り空だったが、雲の合間から半月が見えたので、天体望遠鏡を屋外に持って出て月の観測も行ってみた。月のクレーターが見えると子供達は「すごい！」と喜んで、大きな天体望遠鏡には列を作って観測をしていた。

家庭にあっても意外にわからない、或いは買ってもなかなか教えてもらえない天体望遠鏡の使い方を詳しく知ることができるこのイベントは毎年好評で、天文部の社会活動の一環として、今後もサイピアと共同で開催していく予定である。



主	催	ビブリオバトル普及委員会		
タ	イ	トル	全国大学ビブリオバトル2016 京都決戦中国Bブロック地区予選	
実	施	者	就実ビブリオバトルクラブ	
日	付	平成28年11月19日	場	所 就実大学図書館 AV ホール
対	象	者	参加人数	21名

概要 (本文・写真・図等)

2016年11月19日10時から11時半まで、就実大学図書館 AV ホールにて「全国大学ビブリオバトル2016 京都決戦中国Bブロック地区予選」を行い、12月京都大学で開催される全国大会に出場する中国Bブロック代表を決定した。就実ビブリオバトルクラブは、本会の開催校として運営を担当した。

内容は以下の通り。

- ①発表者 (学生) 数 6名
- ③およその当日参加者 (聴衆と発表者) 数 30人
- ④参加学校名 岡山県立大学、環太平洋大学、就実大学・就実短期大学、尾道市立大学

就実大学・短期大学からは、学内の予選を勝ち抜いた短期大学の学生が代表として発表を行った。紹介本は座右の銘1300」である。

他大学の紹介本は、「かわいそうだね?」「王とサーカス」「君の名は。」「また、同じ夢を見ていた」「好き好き大好き超愛してる。」

発表後、参加者でチャンプ本を投票で選んだが、1回目の投票では上位2名が同数となり、再度決戦投票を行った結果、尾道市立大学の学生がチャンプ本獲得者 (紹介者) となり、全国大会に出場した。当日の様子は、翌日の山陽新聞で紹介された。



主 催	玉野市＝就実大学連携		
タ イ ト ル	地域の課題解決を提案するプロジェクト(PBL：課題解決型学習)		
実 施 者	三 枝 省 三		
日 付	平成 28 年 8 月 9 日など 他 4 日	場 所	玉野市街、市庁舎など
対 象 者	玉野市	参 加 人 数	学生 11 名、市民約 10 名、市長ほか約 5 名

概要（本文・写真・図等）

学生の地域問題に関する意識は高く、身の回りの「課題は何か」と聞くと多くの学生が地域活性化問題を提示していた(別科目:「思考発想法入門」で)。そこでこれらの問題意識を最大限に引き出し、課題解決への考え方とアイデアを創出し、提案する実体験の機会を持つことは今後の社会での有用性と、将来の活躍の場を広げることになると考えた。

一方、社会での仕事の進め方は一つにルーティーンとして毎日こなすことと、もう一つは(決められた内容・目標・期限)のプロジェクトがある。後者は往々にして非常に大切な案件を取り上げ、複数名のスタッフが協力して問題解決にあたる。このプロジェクトの手法と前記の学生の問題意識を融合させることが、地域課題解決と同時に学生の学習意欲の向上に繋がると考えた。

そこで、本活動では、実際のプロジェクト対象として県南・玉野市の課題を取り上げ、その地域問題に対して解決案を構想するプロジェクトとして実施した。4つのグループがそれぞれ目標をたて、プロジェクトの基礎知識の実践方法の習得した。同時に、具体的な問題に対して、課題の深掘り・アプローチの考え方・アイデア出し・クリティカルシンキングを磨き、具体策を試行錯誤のうえ案出した。

上記活動のまとめとして、玉野市長に向けてプレゼンテーション(8月9日)を実施し、解決策の可能性をアピールした。その様子は山陽新聞に掲載された。本活動の実行に当たり、地元の方々やボランティア関係者の熱い協力が有った、お礼を申し上げる。



玉野市長前プレゼンの様子 (山陽新聞 2016-8/11 朝刊)

主 催	岡山県立大学・就実大学		
タ イ ト ル	地域活性化のための地域中小企業経営者支援セミナー		
実 施 者	経営学部杉山慎策学部長、鈴木新講師、加賀美太記講師、櫻木理江講師		
日 付	平成28年10月21日～12月16日	場 所	久世エスパスランド
対 象 者	真庭市内中小企業経営者及び後継者	参 加 人 数	約15名～20名

概要（本文・写真・図等）

「おokayま COC+推進協議会（代表：岡山県立大学）」が推進する文部科学省「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）」の一環として、真庭市内の中小企業の経営者及び後継者を対象に、岡山県立大学デザイン学部と就実大学経営学部が互いの教育資源を活用して、企業の経営力向上と地域創生につながる統合的地域ブランディングを目的とする全6回のセミナーとして実施した。

10月21日のオープニング講座「共同講座の目的・内容について」を杉山学部長が行い、11月25日に行われた第二回講座では加賀美太記講師が「経営戦略論入門」、12月16日の第三回講座では櫻木理江講師が「マーケティング戦略論」、1月27日の第4回講座では鈴木新講師が「管理会計入門」の各講義を担当した。

各講義には約15名が参加された。講義前半で経営戦略、マーケティング、管理会計の代表的なフレームワークについて解説し、後半にはグループワークを行った。多くの参加者が積極的に質問・発言されており、有意義なセミナーとなった。



主 催	岡山県中小企業団体中央会		
タ イ ト ル	岡山県中小企業団体中央会・就実大学中小企業の経営支援に関する連携包括提携		
実 施 者	就実大学		
日 付	平成 28 年 7 月 28 日	場 所	就実大学
対 象 者	関係者	参 加 人 数	30 名

概要（本文・写真・図等）

平成 26 年 4 月の就実大学経営学部創立より、就実大学と岡山県中小企業団体青年中央会（岡山県中小企業団体中央会の青年部組織）と就実大学の間で、青年経済人の経営資質向上の為、連携した活動を実施してきた。そこで、親会である岡山県中小企業団体中央会と組織間で協定を結ぶことにより、連携を強固なものとし、青年部組織だけでなく中央会の会員と継続的に連携し岡山地域の活性化のための活動を実施していくことで合意された。

この合意を受けて平成 28 年 7 月 28 日、岡山県中小企業団体中央会及び就実大学は、下記事項を中心として、中小企業の経営支援において連携を行うとともに相互の事業に協力することで包括提携を結んだ。

- (1) 地域の中小企業並びに中小企業組合等の経営課題の解決のための支援に関すること等
- (2) 岡山県内の青年経済人の育成に関すること等
- (3) 就実大学の学生の教育支援に関すること等



主 催	就実大学・就実短期大学、和気町		
タ イ ト ル	和気町と就実大学・就実短期大学との包括的連携協力		
実 施 者	和気町		
日 付	平成 29 年 2 月 23 日	場 所	和気町役場本庁舎会議室
対 象 者		参 加 人 数	
概要（本文・写真・図等）			
<p>「和気町と就実大学・就実短期大学との包括連携に関する協定書」の調印式が平成 29 年 2 月 23 日（木）に和気町役場本庁舎会議室において行われました。</p> <p>和気町では、平成 27 年 10 月に取りまとめた「和気町まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、教育に関心のある子育て世代の移住・定住を促進するため、「教育の町・和気」構想を策定し、平成 28 年 4 月より、公営塾の本格運用を開始したほか、平成 29 年 4 月に英語特区を導入し、教育環境の向上を推進しています。</p> <p>こうした中で、本学と地方創生に向けた地域社会の発展および人材の育成に資することを目的とし、包括連携協定を締結することになりました。今後は公営塾に本学の学生を派遣するなどの交流が予定され、さらなる協力関係の構築が期待されます。</p> <p>【連携協力の内容】</p> <p>(1) 地域文化の振興に関すること</p> <p>(2) 相互の教育及び人材の育成に関すること</p> <p>(3) その他双方が必要と認めること</p>			
			

主 催	林原美術館、就実大学		
タ イ ト ル	林原美術館と就実大学との連携協定締結		
実 施 者	林原美術館理事長、就実大学長		
日 付	平成 29 年 3 月 21 日	場 所	林原美術館
対 象 者	林原美術館、就実大学	参 加 人 数	4 名
概要（本文・写真・図等）			
<p>一般財団法人林原美術館と就実大学は、3月21日、所蔵品に関する研究と、学芸員資格取得希望の本学学生への教育促進に関する包括的な連携協定を締結しました。調印式は林原美術館内のホールで、長瀬玲二同館理事長と、片岡洋行就実大学長により行われました。</p> <p>同館は旧藩主池田家の什器、美術品をはじめ、多くの古典籍、古文書を所蔵しています。美術館は9千点以上の史・資料を所蔵するものの、古典籍・古文書の大半は未整理の状態であると言われています。近年、同館の未整理のものの中から、明智光秀の家臣の書簡集「石谷家文書」や、藤原定家直筆「明月記」の断片など貴重なものが発見され、話題になりました。この協定は新たな資料の発見を目指して、本学の「吉備地方文化研究所」の教員を中心に判読し、整理や分類を通して歴史・文化との連関を探ることを目標にしています。同館は就実大学の調査力と研究力によって、未整理の文書類からの新たな発見を期待し、その成果による展示等の充実をはかり、本学は教員における研究の充実と大学全体の活性化、さらに、歴史・文化研究への貢献を目指しています。すでに、同館には学生の博物館実習を受け入れていただいているのですが、文書の判読と整理作業に、資格取得希望の学生の協力参加の可能性を摸索したいと考えています。同館の大学との協定は関西地方に一校あるのみで、岡山県下での締結は本学のみです。本学にとっては、倉敷考古館について二件目の博物館、美術館との締結です。今回の締結は、土井通弘人文科学部教授の尽力があって実現しました。</p>			
			

主 催	大学コンソーシアム岡山		
タ イ ト ル	下記の地域貢献活動		
実 施 者	大学コンソーシアム岡山加盟各大学ならびに岡山県・岡山市等		
日 付		場 所	
対 象 者		参 加 人 数	
概要（本文・写真・図等）			
<p>今年度より本学が大学コンソーシアム岡山の代表校となり、大学コンソーシアム岡山運営委員長として、地域貢献に関する活動を行っている。以下に主なものを示す。それぞれの詳細は省略する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 岡山県・岡山県中小企業団体中央会・大学コンソーシアム岡山連携合同企業説明会「就活クエスト」（2016年3月10日，ジップアリーナ岡山） ・ 熊本地震復興ボランティア派遣（岡山経済同友会との連携事業として，岡山県内の大学生 24名を派遣（2016年5月2日～6日））。 ・ G7 倉敷教育大臣会合シンポジウム「大学教育イノベーション in OKAYAMA」の実施。（2016年5月8日） ・ 山陽新聞社との連携事業として「吉備創生カレッジ」の実施（通年）。 ・ 大学コンソーシアム岡山「日ようび子ども大学」（2016年6月5日，岡山県生涯学習センター）の実施。 ・ 大学コンソーシアム岡山「エコナイト」（2016年7月9日，奉還町商店街，6月～8月各加盟大学） ・ 岡山県中小企業団体中央会・大学コンソーシアム岡山連携事業「インターンシップ事前研修会」（2016年7月10日，三木記念ホール） ・ 岡山大学・大学コンソーシアム岡山「障がい学生支援研修会」（2016年8月23日，岡山大学） ・ 全国大学コンソーシアム協議会における大学コンソーシアム岡山の活動紹介（2016年9月10～11日，広島）。 ・ 岡山県・岡山県中小企業団体中央会・大学コンソーシアム岡山連携合同企業説明会「就活クエスト」（2017年3月に岡山ドームで開催予定） 			

主 催	児童文化部		
タ イ ト ル	児童文化部活動記録		
実 施 者	児童文化部		
日 付	平成 28 年度	場 所	地域の児童館、図書館等
対 象 者	地域の子どもや保護者	参 加 人 数	

概要 (本文・写真・図等)

2016年度児童文化部活動記録(2016年4月～2017年3月)			
		場所	内容
2016年4月	9日	幸町図書館	絵本の読み聞かせ
		浜川原児童館	入学式お祝い会
	29日	旭川荘	旭川荘春祭り
2016年5月	7日	浜川原児童館	児童館でのレクリエーション
	21日	幸町図書館	絵本の読み聞かせ
	22日	北ふれあいセンター	ウォーキングの補助
	28日	岡山県総合グラウンド	春の子どもまつり
2016年6月	5日	西ふれあいセンター	エコフェスタ種所
	18日	浜川原児童館	児童館でのレクリエーション
		幸町図書館	絵本の読み聞かせ
2016年7月	3日	北ふれあいセンター	夏まつり補助
	9日	幸町図書館	絵本の読み聞かせ
	10日	南ふれあいセンター	夏まつり補助
	16日	とみはら児童館	お祭りの手伝い
		長島病院	夏まつり補助
	18日	西大寺ふれあいセンター	お祭りの手伝い
	23日	浜川原児童館	夏まつり補助
	25日	ウエルポート灘崎	ウエルポートまつり補助
	28日	旭川荘	夏まつり補助
2016年8月	6日	西ふれあいセンター	工作の補助
	12日	岡山福祉交流プラザ富原	子どもエコまつり補助
	25日	幸島小学校	学童保育での保育
2016年9月	10日	浜川原児童館	児童館でのレクリエーション
	22日	岡山ふれあいセンター	ウォーキングの補助
	24日	幸町図書館	絵本の読み聞かせ
2016年10月	8日	浜川原児童館	児童館でのレクリエーション
	15日	幸町図書館	絵本の読み聞かせ
	30日	富山小学校体育館	ハロウィンまつりで劇
2016年11月	3日	岡山ドーム	障害者Tボール大会補助
	6日	山陽ふれあい公園	工作、忍者をテーマとしたブースの遊び補助
		岡山ドーム	秋の子どもまつり
	12日	閑谷ワークセンター	まつりの補助
		財田児童館	ゲーム、工作補助
		浜川原児童館	児童館でのレクリエーション
	20日	西ふれあいセンター	ふれあいまつりで子どもたちと遊ぶ
		国際交流センター	
	27日	西大寺ふれあいセンター	ウォーキングの補助
2016年12月	3日	浜川原児童館	児童館でのレクリエーション
	11日	後楽園	クリスマス会でのペープサート
	17日	幸町図書館	クリスマス会でのハンドベル演奏
2017年1月	7日	西ふれあいセンター	昔遊びや工作の補助
		浜川原児童館	児童館でのレクリエーション
2017年2月	18日	浜川原児童館	児童館でのレクリエーション
	25日	国際交流センター	外国人を送る会補助
		幸町図書館	絵本の読み聞かせ
2017年3月	4日	赤磐市立中央図書館	子育てネットワーク事業補助
2017年3月	7日	浮田小学校	お別れ会

各種学外委員会の応嘱

所 属	教育学研究科	職 位	教 授	氏 名	山 本 力
内 容	①岡山県人権政策審議会・委員 ②岡山県子どもほっとライン調査研究委員会・委員長				
期 間	①平成28年4月1日～平成29年3月31日 ②平成28年4月1日～平成29年3月31日				

所 属	人文科学部 表現文化学科	職 位	教 授	氏 名	川 崎 剛 志
内 容	①人間文化機構国文学研究資料館 国文学文献資料調査員 ②日本山岳修験学会 理事 ③説話文学会 委員 ④神戸女子大学古典芸能研究センター 客員研究員				
期 間	①平成13年4月1日～現在 ②平成23年10月1日～（評議員）、平成25年10月1日～現在（理事） ③平成27年4月1日～現在 ④平成27年4月1日～現在				

所 属	人文科学部 実践英語学科	職 位	教 授	氏 名	田 淵 博 文
内 容	①大学英語教育学会中国・四国支部代議員 ②大学英語教育学会中国・四国支部研究企画委員 ③全国商業高等学校英語スピーチコンテスト岡山県予選会審査員				
期 間	①平成8年4月1日～現在 ②平成15年4月1日～現在 ③平成14年4月1日～現在				

所 属	教育学部 初等教育学科	職 位	教 授	氏 名	高 橋 文 博
内 容	①独立行政法人労働者健康福祉機構 岡山労災病院 倫理委員会委員 ②一般社団法人 高等教育国際基準協会理事 ③NPO法人 ヘルスサイエンス地域国際センター理事、NPO法人 口腔健康科学ネット理事 ④岡山大学医療系部局研究倫理委員会専門委員会委員 ⑤一般財団法人 牛窓海洋スポーツ振興会理事 ⑥一般財団法人 淳風会健康管理センター 臨床研究審査委員会 審査委員				
期 間	①平成22年4月～現在 ②平成25年12月～現在 ③平成26年4月～現在 ④平成26年4月～現在 ⑤平成27年6月～現在 ⑥平成28年4月～現在				

所 属	教育学部 初等教育学科	職 位	教 授	氏 名	門 原 眞 佐 子
内 容	①岡山県教育委員会教育実習評価モデル作成に係るワーキンググループ委員				
期 間	①平成28年11月16日～平成29年3月31日				

所 属	教育学部 初等教育学科	職 位	教 授	氏 名	丹 生 裕 一
内 容	①笠岡市学校運営協議会スーパーバイザー				
期 間	①平成28年4月1日～平成29年3月31日				

所 属	教育学部 初等教育学科	職 位	准教授	氏 名	楠 博 文
内 容	①兵庫教育大学岡山会 理事 ②岡山県小学校教育研究会岡山支会算数部会 顧問 ③塩野直道記念第4回「算数・数学の自由研究」 審査員				
期 間	①平成25年4月1日～現在 ②平成28年4月1日～現在 ③平成28年6月1日～平成28年11月30日				

所 属	教育学部 初等教育学科	職 位	准教授	氏 名	村 田 恵 子
内 容	①瀬戸内市次世代育成支援対策推進協議会委員（放課後児童クラブ部会副会長） ②社会福祉法人 弘徳学園 評議員				
期 間	①平成28年4月1日～現在 ②平成26年7月1日～現在				

所 属	教育学部 教育心理学科	職 位	教 授	氏 名	北 川 歳 昭
内 容	①岡山市保健福祉政策審議会委員 ②岡山市障害者福祉政策推進協議会委員 ③岡山県警察署安全部生活相談員				
期 間	①②平成27年11月16日～平成28年11月15日 ③平成28年4月1日～平成29年3月31日				

所 属	教育学部 教育心理学科	職 位	教 授	氏 名	岡 田 信 吾
内 容	①専門指導員派遣事業に係る専門家チーム員				
期 間	①平成28年4月1日～平成29年3月31日				

所 属	教育学部 教育心理学科	職 位	教 授	氏 名	石 原 み ち る
内 容	①岡山市学校問題解決サポート事業 専門相談員 ②岡山県教育委員会スクールカウンセラー配置事業 スーパーバイザー ③瀬戸内市子ども包括支援推進協議会委員				
期 間	①平成28年4月1日～平成29年3月31日 ②平成28年4月1日～平成29年3月31日 ③平成28年5月10日～平成29年3月31日				

所 属	教育学部 教育心理学科	職 位	准教授	氏 名	森 宏 樹
内 容	①中国・四国学校保健学会 理事				
期 間	①平成26年7月～				

所 属	薬学部 薬学科	職 位	教 授	氏 名	塩 田 澄 子
内 容	①岡山市教育委員会委員 ②岡山市男女共同参画推進センター（さんかく岡山）運営委員会委員 ③岡山市青少年問題委員会委員 ④岡山市薬剤師会常任理事 ⑤岡山市薬剤師会オープンフォーラム委員会委員 ⑥日本細菌学会中国四国支部会評議員 ⑦日本薬学会薬学教育委員会委員 ⑧日本薬学会広報委員会委員 ⑨薬学教育協議会 微生物学教科担当教員会議世話人				
期 間	①平成22年10月8日～平成30年10月7日（2期目） ②平成22年4月1日～平成30年3月31日（4期目） ③平成26年9月1日～平成30年8月31日（2期目） ④平成27年4月1日～現在 ⑤平成19年4月1日～現在 ⑥平成16年4月1日～現在 ⑦平成27年4月1日～平成29年3月31日 ⑧平成26年4月1日～平成30年3月31日（2期目） ⑨平成28年4月1日～現在				

所 属	薬学部 薬学科	職 位	教 授	氏 名	柴 田 隆 司
内 容	①岡山県薬剤師教育研修員				
期 間	①平成28年4月1日～平成30年3月31日				

所 属	薬学部 薬学科	職 位	教 授	氏 名	片 岡 洋 行
内 容	①薬学教育協議会分析化学系教科検討委員会委員 ②Analytica Chimica Acta: Editorial Advisory Board member (Elsevier) ③Analytical Chemistry Letters: Editorial Board (Vinayak-Graphics) ④Journal of Environmental & Analytical Toxicology: Editorial Board Member (OMICS) ⑤日本分析化学会中国四国支部幹事 ⑥おokayまバイオアクティブ研究会幹事 ⑦Analytical Methods in Chemistry Editorial Board Member (Hindawi) ⑧Solid-Phase Extraction Techniques: Editorial Advisory Board (Versita) ⑨Editorial Board Member of Chromatography (Japan) ⑩クロマトグラフィー科学会評議員 ⑪Permanent Contributing Editors in Trends in Analytical Chemistry (Elsevier)				

	<p>⑫日本薬学会中国四国支部代議員 ⑬薬学教育評価機構評価実施委員 ⑭Editorial Board Member of Journal of Translational Biomarkers & Diagnosis (SciDoc Publishers) ⑮Editorial Board Member of Journal of Bioanalytical Techniques (Sciforschen) ⑯日本私立短期大学協会中四国支部評議員 ⑰日本私立大学協会中四国支部評議員 ⑱国際化を進める岡山中央協議会理事 ⑲岡山県薬事審議会委員部会長 ⑳大学コンソーシアム岡山 第六期会長 ㉑岡山県私立短期大学協会副会長 ㉒日本私立短期大学協会理事・中四国支部監事 ㉓第2回岡山マラソン実行委員会委員 ㉔第4回岡山芸術交流実行委員会委員 ㉕岡山EU協会理事 ㉖G7倉敷教育大臣会合応援事業シンポジウム「大学教育イノベーションin Okayama」 ㉗日ようびこども大学</p>
<p>期 間</p>	<p>①平成15年4月1日～現在 ②平成21年1月1日～現在 ③平成23年1月1日～現在 ④平成23年4月1日～現在 ⑤平成23年4月1日～現在 ⑥平成23年4月1日～現在 ⑦平成23年11月1日～現在 ⑧平成24年1月1日～現在 ⑨平成24年4月1日～現在 ⑩平成24年4月1日～現在 ⑪平成24年4月1日～現在 ⑫平成25年4月1日～現在 ⑬平成26年4月1日～現在 ⑭平成27年10月1日～現在 ⑮平成27年10月1日～現在 ⑯平成27年4月1日～現在 ⑰平成27年4月1日～現在 ⑱平成27年4月1日～現在 ⑲平成27年4月1日～平成29年3月31日 ⑳平成28年4月1日～現在 ㉑平成28年4月1日～現在 ㉒平成28年4月1日～現在</p>

②③平成28年4月1日～平成29年3月31日
②④平成28年4月1日～平成29年3月31日
②⑤平成28年4月1日～現在
②⑥平成28年5月8日
②⑦平成28年6月5日

所 属	薬学部 薬学科	職 位	教授	氏 名	西 村 多美子
内 容	①日本薬学会 代議員 ②日本薬理学会 学術評議員 ③日本レギュラトリーサイエンス学会 社員（評議員）				
期 間	①平成23年4月～現在 ②昭和62年～現在 ③平成23年7月～現在				

所 属	薬学部 薬学科	職 位	教授	氏 名	見 尾 光 庸
内 容	①薬学教育協議会薬理学関連教科担当教員会議委員 ②日本私立薬科大学協会教務部長会委員 ③日本私立薬科大学協会 薬剤師国家試験問題検討委員会薬理学部会委員 ④大学コンソーシアム岡山 運営委員会委員長 ⑤大学コンソーシアム岡山企画委員会委員長 ⑥大学コンソーシアム岡山社会人教育委員会委員 ⑦大学コンソーシアム岡山共同教育委員会委員 ⑧大学コンソーシアム岡山将来構想委員会委員 ⑨大学コンソーシアム岡山-岡山県連携PR事業実行委員長 ⑩岡山観光コンベンション協会理事 ⑪エコパートナーシップ岡山企画運営委員 ⑫岡山芸術交流実行委員会幹事会委員 ⑬岡山ESD推進協議会委員				
期 間	①平成15年4月～現在 ②平成25年4月～現在 ③平成20年4月～現在 ④平成28年4月～現在 ⑤平成28年4月～現在 ⑥平成28年4月～現在 ⑦平成25年4月～現在 ⑧平成23年4月～現在 ⑨平成27年12月～現在 ⑩平成28年5月～現在				

⑪平成28年4月～現在
⑫平成28年4月～現在
⑬平成28年4月～現在

所 属	薬学部 薬学科	職 位	教 授	氏 名	中 西 徹
内 容	①岡山県環境放射線等測定技術委員会委員 ②(社)日本アイソトープ協会本部企画委員 ③主体的学び研究所 客員フェロー ④Pasteur Society Japan (日本パスツール協会) プレスリリース日本語版作成委員 ⑤日本軟骨代謝学会評議員 ⑥日本生化学会評議員 ⑦硬組織再生生物学会理事 ⑧日本食品衛生学会理事 (中国四国ブロック担当) ⑨おかやまバイオアクティブ研究会役員・企画委員 ⑩Editorial Board of Pathology and Laboratory Medicine ⑪「遺伝子工学」教科書編集委員会 代表編集委員 (廣川書店) ⑫日本放射線安全管理学会第15回学術大会副大会長				
期 間	①平成22年4月1日～ ②平成26年4月1日～ ③平成27年4月1日～ ④平成15年4月1日～ ⑤平成11年3月1日～ ⑥平成17年10月1日～ ⑦平成16年10月1日～ ⑧平成25年3月1日～ ⑨平成25年10月11日～ ⑩平成28年11月1日～ ⑪平成27年4月1日～ ⑫平成27年12月21日～平成28年12月2日				

所 属	薬学部 薬学科	職 位	教 授	氏 名	洲 崎 悦 子
内 容	①津山洋学資料館 協議会委員				
期 間	①平成21年4月1日～平成30年3月31日				

所 属	薬学部 薬学科	職 位	教 授	氏 名	渡 辺 雅 彦
内 容	①日本気象予報士会岡山支部長 ②日本環境変異原学会評議員 ③日本環境変異原学会編集委員				
期 間	①平成19年3月31日～平成29年3月31日 ②平成28年1月1日～平成29年12月31日 ③平成28年1月1日～平成29年12月31日				

所 属	薬学部 薬学科	職 位	准教授	氏 名	平 岡 修
内 容	①薬学共用試験センター CBT実施委員				
期 間	①平成28年4月1日～平成29年3月31日				

所 属	薬学部 薬学科	職 位	准教授	氏 名	島 田 憲 一
内 容	①岡山県薬剤師会 薬局委員会委員 ②薬学教育協議会 病院・薬局実務実習中国四国地区調整機構事務局長 ③岡山市介護認定審査会委員 ④食品安全モニター ⑤抗がん剤曝露対策協議会行動目標ワーキンググループ委員				
期 間	①平成20年4月1日～現在 ②平成22年4月1日～現在 ③平成25年4月1日～現在 ④平成27年4月1日～現在 ⑤平成28年10月21日～現在				

所 属	薬学部 薬学科	職 位	准教授	氏 名	古 林 呂 之
内 容	①公私立大学実験動物施設協議会代議員 ②岡山市薬剤師会 薬物乱用防止委員会委員 ③日本学術振興会 科学研究費専門委員会委員				
期 間	①平成24年4月～現在 ②平成26年4月～現在 ③平成27年12月～平成28年11月				

所 属	薬学部 薬学科	職 位	講 師	氏 名	加 地 弘 明
内 容	①岡山県薬剤師会 在宅特別委員会委員 ②岡山県薬剤師会 岡山薬学フォーラム実行委員 ③岡山県薬剤師会 薬局委員会ループリック評価WG				
期 間	①平成26年6月～現在 ②平成26年7月～現在 ③平成28年12月～現在				

所 属	経営学部 経営学科	職 位	教 授	氏 名	杉 山 慎 策
内 容	①岡山市経済政策審議会等委員 ②岡山市基本政策審議会委員 ③岡山県立城東高校スーパーグローバルハイスクール運営指導委員会委員 ④つやま産業支援センター運営協議会会長 ⑤津山市観光戦略アクションプラン策定委員会委員 ⑥公益財団法人中島記念財団 ⑦日本貿易振興機構（JETRO）岡山県有識者懇談会 ⑧地球温暖化防止プロジェクト推進会議臨時委員 ⑨岡山県環境文化部指定業者選定に係る外部有識者会議委員				
期 間	①平成28年11月15日～平成30年11月14日 ②平成28年11月15日～平成30年11月14日 ③平成28年4月1日～平成30年3月31日 ④平成28年4月1日～平成30年3月31日 ⑤平成28年4月1日～平成30年3月31日 ⑥平成28年4月1日～平成30年3月31日 ⑦平成28年6月3日 ⑧平成28年7月1日～平成29年3月31日 ⑨平成28年4月1日～平成29年3月31日				

所 属	経営学部 経営学科	職 位	教 授	氏 名	谷 口 憲 治
内 容	①岡山県農地中間管理事業有識者会議委員 ②笠岡市干拓地情報交換アドバイザー ③島根県農政審議会委員（会長） ④島根県新農林水産振興がんばる地域応援総合事業外部評価委員 ⑤島根県しまね農業農村整備指針2016-2019検討委員会委員				
期 間	①平成28年4月1日～平成29年3月31日 ②平成28年4月1日～平成29年3月31日 ③平成21年4月1日～ ④平成23年4月1日～ ⑤平成28年4月1日～平成29年3月31日				

所 属	経営学部 経営学科	職 位	教 授	氏 名	三 枝 省 三
内 容	①広島県イノベーション人材等育成事業「広島県未来チャレンジ資金」有識者委員 ②中経連 人材育成専門部会 第2分科会委員				
期 間	①平成28年4月1日～平成29年3月31日 ②平成28年10月12日～平成29年3月31日				

所 属	経営学部 経営学科	職 位	教 授	氏 名	野 本 明 成
内 容	①岡山市公の施設の指定管理候補者選定委員会委員 ②笠岡市施策評価委員会委員 ③笠岡市総合計画審議会委員				
期 間	①平成27年6月17日～平成29年6月16日 ②平成28年8月22日～平成28年9月30日 ③平成28年9月26日～平成29年11月頃				

所 属	経営学部 経営学科	職 位	教 授	氏 名	大 崎 泰 正
内 容	①特定非営利活動法人ハート・オブ・ゴールド監事 ②岡山市中区区づくり推進事業審査会副委員長 ③山田方谷研究会理事（任意団体）				
期 間	①平成14年～ ②平成28年度～ ③平成24年度～				

所 属	経営学部 経営学科	職 位	教 授	氏 名	林 俊 克
内 容	①平成28年度スーパーグローバルハイスクール運営指導委員会委員				
期 間	①平成28年4月1日～平成29年3月31日まで				

所 属	経営学部 経営学科	職 位	准教授	氏 名	八 卷 恵 子
内 容	①Deputy Chair of Commission on Enterprise Anthropology, Union of International Association of Anthropology and Ethnology. (国際人類学・民族学科学連合 企業人類学委員会 副委員長) ②社会・経済システム学会 理事 ③世界コスプレサミット 学術委員 ④西日本旅客鉄道株式会社岡山支社 地域共生推進アドバイザー ⑤『龍の仕事展』実行委員 ⑥全国医師会医療秘書学院連絡協議会 運営委員 ⑦津山市観光協会・西日本旅客鉄道株式会社岡山支社「旅立ちの汽笛」ポエム (津山まなびの鉄道館) 審査員				
期 間	①平成25年8月～現在 ②平成27年6月～現在 ③平成26年8月～現在 ④平成28年3月～現在 ⑤平成27年6月～現在 ⑥平成27年7月～現在 ⑦平成28年2月～6月				

所 属	経営学部 経営学科	職 位	准教授	氏 名	寺 本 佳 苗
内 容	①女性活躍推進協議会 ②親へのエール論文コンクール審査委員				
期 間	①平成28年4月1日～平成30年3月31日 ②平成28年10月19日～平成29年3月31日				

所 属	経営学部 経営学科	職 位	講 師	氏 名	加 賀 美 太 記
内 容	①くらしと協同の研究所 研究委員・『くらしと協同』編集委員 ②全労済協会「協同組合研究会」研究会委員				
期 間	①平成26年6月1日～現在 ②平成27年4月24日～現在				

所 属	経営学部 経営学科	職 位	講 師	氏 名	櫻 木 理 江
内 容	①岡山県農林水産総合センター生物科学研究所外部評価委員会委員 ②岡山県農林水産部指定管理者候補選定委員会委員				
期 間	①平成27年5月19日～平成29年3月31日 ②平成28年7月1日～平成28年12月28日				

所 属	短期大学 幼児教育学科	職 位	教 授	氏 名	澤 津 まり子
内 容	①岡山県生涯学習審議会 審議委員 ②瀬戸内市次世代育成支援対策推進協議会委員				
期 間	①平成27年8月1日～平成29年7月31日 ②平成26年7月2日～現在				

所 属	短期大学 幼児教育学科	職 位	教 授	氏 名	笹 倉 千佳弘
内 容	①国民教育文化総合研究所・「貧困と子ども・学力」研究委員				
期 間	①平成27年4月1日～平成20年3月31日				

所 属	短期大学 幼児教育学科	職 位	教 授	氏 名	柴 川 敏 之
内 容	①岡山県新進美術家育成「I氏賞」推薦委員 ②広島県立美術館評価委員会 委員				
期 間	①平成28年4月1日～平成29年3月31日 ②平成28年4月1日～平成29年3月31日				

所 属	短期大学 生活実践科学科	職 位	准教授	氏 名	畦 五 月
内 容	①全国健康保険協会岡山支部 健康づくり事業協議会委員 ②岡山県国民保護協議会委員				
期 間	①平成28年4月1日から平成29年3月31日 ②平成28年4月1日から平成29年5月11日				

講師の派遣

所 属	教育学研究科	職 位	教 授	氏 名	山 本 力
実 施 日	①平成28年7月10日 ②平成28年9月～12月 ③平成28年11月20日 ④平成29年1月28日				
事業主催者（依頼元）	①上智大学 ②岡山県教育総合センター ③広島大学心理臨床センター ④就実中学校				
タ イ ト ル	①がん医療講座：グリーンケアの心理臨床 ②教育相談の事例研究について、及び事例検討会（全4回） ③専門講演：「外傷性悲嘆」の心理臨床 ④保護者講演：親と子どもの心理的距離の取り方				

所 属	人文科学部 表現文化学科	職 位	教 授	氏 名	井 上 啓 治
実 施 日	①平成28年12月5日				
事業主催者（依頼元）	①吉備創生カレッジ				
タ イ ト ル	①「ずれとずらしの文化——雅俗の狭間に生きた江戸の文人たち」				

所 属	人文科学部 表現文化学科	職 位	教 授	氏 名	中 西 裕
実 施 日	①平成28年11月21日				
事業主催者（依頼元）	①大学コンソーシアム岡山／山陽新聞社 山陽新聞社				
タ イ ト ル	①吉備創生カレッジ 「ずれ」と「ずらし」の文化 音楽メディアと『ずらし』文化—音楽の創造と消費はどう変わったか—				

所 属	人文科学部 表現文化学科	職 位	准教授	氏 名	中 崎 崇
実 施 日	①平成28年11月7日				
事業主催者（依頼元）	①吉備創生カレッジ事務局				
タ イ ト ル	①「ずれ」と「ずらし」の文化 人はいかに発話を理解するか				

所 属	人文科学部 実践英語学科	職 位	准教授	氏 名	武 部 好 子
実 施 日	①平成28年6月4日・5日 ②平成28年9月8日				
事業主催者（依頼元）	①シアターX（カイ）（東京 両国） ②ライフパーク倉敷 市民学習センター				
タ イ ト ル	①第12回 シアターX 国際舞台芸術祭2016 特別公演 劇団 Mouth on Fire 【TIME PASSES/時は流れる】サミュエル ベケット作品 上演前の劇団からのプレトーク 及び 終演後の観客とのアフターミーティングにおける通訳 ②「知られざる通訳の世界！」				

所 属	人文科学部 総合歴史学科	職 位	教 授	氏 名	櫻 田 美 津 夫
実 施 日	①平成28年9月16-17日（90分授業各2回、計4回） ②平成29年2月21日				
事業主催者（依頼元）	①ライデン大学東京事務所 ②公益財団法人 岡山市ふれあい公社				
タ イ ト ル	①偉大なオランダ人たち — 人物オランダ史 ②小説や映画でたどる歴史				

所 属	人文科学部 総合歴史学科	職 位	教 授	氏 名	荻 米 一 志
実 施 日	①平成28年4月24日 ②平成28年9月25日 ③平成28年10月4日 ④平成28年10月29日 ⑤平成28年11月26日 ⑥平成29年3月26日				
事業主催者（依頼元）	①まなびの広場 岡山 ②まなびの広場 岡山 ③日本科学者会議 岡山支部 ④笠岡市教育委員会 ⑤神奈川県立金沢文庫 ⑥まなびの広場 岡山				
タ イ ト ル	①備前国府周辺を歩く ②日本中世の古文書を読む ③日本中世の世界へようこそ ④笠岡地域の古文書を読む ⑤中世真言律宗と殺生戒 ⑥日本中世の古文書を読む（2）				

所 属	教育学部 初等教育学科	職 位	教 授	氏 名	吉 田 満 穂
実 施 日	①平成29年2月21日				
事業主催者（依頼元）	①YMCAせとうち				
タ イ ト ル	①子育てセミナー「子どもに会う」				

所 属	教育学部 初等教育学科	職 位	教 授	氏 名	門 原 眞 佐 子
実 施 日	①平成28年 7月15日 ②平成28年 8月26日 ③平成28年 9月14日 ④平成28年11月11日 ⑤平成29年 1月27日 ⑥平成29年 2月 4日 ⑦平成29年 2月17日				
事業主催者（依頼元）	①津山教育事務所生涯学習課 ②倉敷市教育委員会生涯学習課 ③総社市教育委員会こども夢づくり課 ④総社市教育委員会こども夢づくり課 ⑤総社市教育委員会こども夢づくり課 ⑥真庭市教育委員会子育て支援課 ⑦新見市教育委員会学校教育課特別支援教育部会				
タ イ ト ル	①子どもの育ちを支えるために つなげる・つながるの視点に立って ②「今、ここで」を大切にしたかわりについて ③総社市立秦幼稚園・神在幼稚園合同研修会 指導助言 ④総社市立秦幼稚園・神在幼稚園合同研修会 指導助言 ⑤総社市立秦幼稚園・神在幼稚園合同研修会 指導助言 ⑥園をつくり園を支える保育者に ⑦みんなで支えみんなで育てる新見っ子				

所 属	教育学部 初等教育学科	職 位	教 授	氏 名	丹 生 裕 一
実 施 日	①平成28年12月16日				
事業主催者（依頼元）	①岡山県国公立幼稚園教育研究会総社支部				
タ イ ト ル	①幼児期の言葉の発達について ―アプローチカリキュラムの具体化を考える―				

所 属	教育学部 初等教育学科	職 位	准教授	氏 名	楠 博文
実 施 日	①平成28年5月6日 ②平成28年5月17日 ③平成28年5月20日 ④平成28年5月27日 ⑤平成28年5月31日 ⑥平成28年6月3日 ⑦平成28年6月10日 ⑧平成28年6月14日 ⑨平成28年6月24日 ⑩平成28年6月28日 ⑪平成28年7月1日 ⑫平成28年8月12日 ⑬平成28年8月17日 ⑭平成28年8月18日 ⑮平成28年8月19日 ⑯平成28年8月22日 ⑰平成28年8月23日 ⑱平成28年8月24日 ⑲平成28年8月25日 ⑳平成28年8月25日 ㉑平成28年8月29日 ㉒平成28年8月30日 ㉓平成28年9月9日 ㉔平成28年9月30日 ㉕平成28年10月7日 ㉖平成28年10月12日 ㉗平成28年10月21日 ㉘平成28年10月26日 ㉙平成28年11月4日 ㉚平成28年11月10日 ㉛平成28年11月11日 ㉜平成28年11月18日 ㉝平成28年11月25日 ㉞平成29年1月31日 ㉟平成29年2月17日				
事業主催者（依頼元）	①倉敷市教育委員会，倉敷市立第一福田小学校 ②岡山県立岡山支援学校 ③倉敷市教育委員会，倉敷市立第一福田小学校				

	<p>④岡山県立岡山支援学校 ⑤勝央町教育委員会 ⑥真庭市立木山小学校 ⑦倉敷市教育委員会，倉敷市立第一福田小学校 ⑧岡山県立岡山支援学校 ⑨倉敷市教育委員会，倉敷市立第一福田小学校 ⑩勝央町教育委員会，勝央町立勝央北小学校 ⑪浅口市立金光竹小学校 ⑫津山市学校教育研究センター算数部会 ⑬三重県桑名市教育委員会，三重県桑名市教育研究所 ⑭三重県松坂市立阿坂小学校 ⑮真庭市立砦部小学校 ⑯真庭市立木山小学校 ⑰勝央町教育委員会 ⑱笠岡市教育委員会，笠岡市教育研修所小学校算数研修部会 ⑲赤磐市立山陽北小学校 ⑳岡山市立大元小学校 ㉑倉敷市教育委員会，倉敷市立第一福田小学校 ㉒倉敷市教育委員会，倉敷市立第一福田小学校 ㉓浅口市立金光竹小学校 ㉔倉敷市教育委員会，倉敷市立第一福田小学校 ㉕勝央町教育委員会，勝央町立勝間田小学校 ㉖三重県松坂市立阿坂小学校 ㉗倉敷市教育委員会，倉敷市立第一福田小学校 ㉘三重県桑名市立長島北部小学校 ㉙真庭市立砦部小学校 ㉚笠岡市教育委員会，笠岡市幼・小・中校園長会 ㉛岡山県数学教育会，中国・四国地区数学教育会 ㉜倉敷市教育委員会，倉敷市立第一福田小学校 ㉝赤磐市立山陽北小学校 ㉞倉敷市教育委員会，倉敷市立第一福田小学校 ㉟倉敷市教育委員会，倉敷市立第一福田小学校</p>
<p>タ イ ト ル</p>	<p>①校内研究の進め方についての指導助言 ②研究授業の指導助言および講演 ③研究授業の指導助言 ④研究授業の指導助言 ⑤講義「算数科授業づくりの基礎・基本」 ⑥講義「次期学習指導要領が目指す算数」 ⑦研究授業の指導助言 ⑧研究授業の指導助言</p>

<ul style="list-style-type: none"> ⑨研究授業の指導助言 ⑩研究授業の指導助言 ⑪研究授業の指導助言 ⑫講演「今こそ、算数を楽しむ教師になろう！魅力ある算数の授業づくり」 ⑬講演「子どもはもちろん、教師も楽しい！魅力ある算数の授業づくり」 ⑭講演「ユニバーサルデザインの考え方を取り入れた算数の授業づくり」 ⑮研究授業の指導助言 ⑯講演「ユニバーサルデザインの視点を生かした算数の授業づくり」 ⑰研究授業の指導助言 ⑱研究授業の指導助言 ⑲講演「算数の本質を目指す授業づくり～アクティブ・ラーニング～」 ⑳第49回中国・四国算数・数学教育研究（岡山）大会指導案検討会の指導助言 ㉑講義「算数の本質を目指す授業づくり」 ㉒研究授業の学習指導案についての指導助言 ㉓研究授業の指導助言 ㉔研究授業の指導助言 ㉕研究授業の指導助言 ㉖研究授業の指導助言 ㉗研究授業の指導助言 ㉘研究授業の指導助言 ㉙研究授業の指導助言 ㉚講演「アクティブ・ラーニング導入の背景と今後求められる授業改革」 ㉛研究発表及び研究授業の指導助言 ㉜研究授業の指導助言 ㉝研究授業の指導助言及び講演「算数科におけるアクティブ・ラーニング」 ㉞研究授業の指導助言 ㉟研究授業の指導助言

所 属	教育学部 初等教育学科	職 位	准教授	氏 名	福 井 広 和
実 施 日	<ul style="list-style-type: none"> ①平成28年5月3日 ②平成28年6月17日 ③平成28年7月31日 ④平成28年8月10日 ⑤平成28年9月14日 ⑥平成28年11月20日 ⑦平成28年11月26日 ⑧平成28年12月2日 ⑨平成28年12月11日 ⑩平成28年12月25日 				

	①平成29年1月10日 ②平成29年1月27日
事業主催者（依頼元）	①岡山県生涯学習センター人と科学の未来館サイピア ②岡山ふれあいセンター ③岡山ふれあいセンター ④福井県教育研究所 ⑤岡山県生涯学習センター ⑥北陸電力エネルギー科学館 ⑦岡山市立高島小学校 ⑧瀬戸内市立牛窓東小学校 ⑨岡山県生涯学習センター ⑩兵庫県立生涯教育センター ⑪岡山県生涯学習センター人と科学の未来館サイピア ⑫富山県砺波市立出町小学校
タイトル	①サイエンスショー「おもりのはたらき ～やじろべえのひみつ～」 ②岡山市児童館児童厚生員・児童クラブ支援員研修会 ③「お父さんと一緒に科学実験教室」電撃イライラ棒 ④実践型集合研修講座 ⑤大人のためのサイエンスレクチャー ⑥偏光板で見えないメッセージを見よう ⑦たかしまフェスタ2016 ⑧全校児童対象科学教室「〇〇〇〇ころりん」 ⑨科学キッズフェスティバルin京山「飛び出すへこんだ顔」 ⑩うれしのサイエンス「吹き上げストロー」 ⑪サイエンスインストラクター新春事始め「ものとその重さ」 ⑫第48回教育実践研究発表会

所 属	教育学部 初等教育学科	職 位	准教授	氏 名	村 田 恵 子
実 施 日	①平成28年8月10日				
事業主催者（依頼元）	①おかやま地域子育て支援拠点ネットワーク、岡山県				
タイトル	①親の育ちを支える環境づくり—エンパワーメントについて考える— ①親子の育ちを支えるスタッフのコンピテンシー				

所 属	教育学部 初等教育学科	職 位	講 師	氏 名	長 田 健 一
実 施 日	①平成29年2月6日				
事業主催者（依頼元）	①岡山県立岡山一宮高校				
タ イ ト ル	①民主主義のジレンマと可能性 ―トランプ大統領から我々は何を学ぶか―				

所 属	教育学部 教育心理学科	職 位	教 授	氏 名	岡 田 信 吾
実 施 日	①平成28年5月13日 ②平成28年6月10日 ③平成28年8月22日 ④平成28年9月2日 ⑤平成28年9月21日 ⑥平成28年11月21日 ⑦平成29年2月22日				
事業主催者（依頼元）	①岡山県立鴨方高等学校 ②倉敷市教育委員会 ③西大寺中学校区教職員研修会 ④岡山県立鴨方高等学校 ⑤岡山県立早島支援学校 ⑥岡山県立鴨方高等学校 ⑦岡山県立鴨方高等学校				
タ イ ト ル	①教育相談 ②特別支援教育の視点からとらえる学習指導 ③学校における特別な教育的ニーズのある子どもへの対応 ④高等学校における合理的配慮について ⑤授業研究講師 ⑥教育相談 ⑦教育相談				

所 属	教育学部 教育心理学科	職 位	教 授	氏 名	石 原 みちる
実 施 日	①平成28年4月17日 ②平成28年8月24日 ③平成28年9月8日 ④平成29年2月19日				
事業主催者（依頼元）	①岡山県臨床心理士会 ②岡山市教育研究研修センター ③岡山市 地域と家庭の子育て推進事業 ④NPO法人遊育・遊びを育てる会				
タ イ ト ル	①新入会員オリエンテーション「臨床心理士と倫理」 ②岡山市教育研究研修センター不登校問題研修講座 「不登校への理解と支援を考える」 ③子どもの育ちはみんなで支える～臨床心理士の立場から～ ④発達障がい支援講演会 子どもの心、子どもの育ち～臨床心理士の立場から～				

所 属	教育学部 教育心理学科	職 位	准教授	氏 名	鈴 木 薫
実 施 日	①平成28年4月26日 ②平成28年7月23日				
事業主催者（依頼元）	①岡山県 岡山県研修講座の講師 新規採用養護教諭対象 ②岡山市 岡山市新採用幼稚園教諭・保育士対象				
タ イ ト ル	①「養護教諭の職務」 ②「保育中のけがや病気への対応」				

所 属	教育学部 教育心理学科	職 位	准教授	氏 名	森 宏 樹
実 施 日	①平成28年12月9日 ②平成29年1月20日				
事業主催者（依頼元）	①浅口市立金光中学校 ②高梁市立有漢西小学校				
タ イ ト ル	①薬物乱用防止 ②薬物乱用防止教室				

所 属	教育学部 教育心理学科	職 位	講 師	氏 名	下 山 真 衣
実 施 日	①平成28年5月16日～平成29年3月13日（全8回） ②平成28年5月30日～平成29年3月13日（全3回）				
事業主催者（依頼元）	①備前市子育て支援拠点 くるみの森 ②備前市子育て支援拠点 くるみの森				
タ イ ト ル	①発達障害のある子どもの親のペアレントトレーニング ②発達障害のある子どもの親のペアレントトレーニングOB				

所 属	教育学部 教育心理学科	職 位	講 師	氏 名	森 村 和 浩
実 施 日	①平成28年8月17日				
事業主催者（依頼元）	①福岡市教育センター				
タ イ ト ル	①平成28年度「健康教育」研修講座 「これからの健康教育のあり方：健やかなカラダとココロを育むために」				

所 属	薬学部 薬学科	職 位	教 授	氏 名	塩 田 澄 子
実 施 日	①平成28年8月7～9日 ②平成28年8月22日 ③平成28年10月13日 ④平成28年10月24日 ⑤平成28年11月18日 ⑥平成28年12月3日 ⑦平成28年12月25～27日 ⑧平成29年1月8～9日				
事業主催者（依頼元）	①日本薬学会 ②岡山市男女共同社会推進センター（さんかく岡山） ③就実こども園 ④岡山北西ロータリークラブ ⑤社会福祉法人幸輝園乙多見事業所（岡山県社会保険協会） ⑥岡山市福田公民館 ⑦日本薬学会 ⑧薬学教育協議会				
タ イ ト ル	①第5回全国薬学生ワークショップ（実行委員長） ②平成28年度コドモさんかくゼミFOR GIRLS「目に見えない生き物の不思議な世界をのぞこう」 ③平成28年度子育て講座「冬の感染症から子どもを守る」 ④外部卓話「抗生物質が効かない!薬剤耐性菌の現状と対策」 ⑤勤労者の健康と福祉向上事業「冬場の感染症対策～正しい知識と予防～」				

⑥チャレンジワーク お仕事体験教室 「薬剤師さんになろう！」 ⑦第2回「若手薬学教員のためのアドバンスワークショップ」(実行委員) ⑧第46回薬学教育者ワークショップ中国・四国 in 岡山 (タスクフォース)
--

所 属	薬学部 薬学科	職 位	教 授	氏 名	柴 田 隆 司
実 施 日	①平成28年7月23日				
事業主催者 (依頼元)	①井原市市民活動センター				
タ イ ト ル	①「薬と上手に付き合う方法」～生活習慣病～ どんなことに気をつけようか？				

所 属	薬学部 薬学科	職 位	教 授	氏 名	西 村 多 美 子
実 施 日	①平成28年9月3日				
事業主催者 (依頼元)	①岡山市男女共同参画推進センター				
タ イ ト ル	①28年度2016 コドモさんかくゼミ FOR GIRLS [理系っていいかも！未来のリケジョ応援プロジェクト]女の子のためのもっともっと理科がすきになる実験教室, くすりの不思議.				

所 属	薬学部 薬学科	職 位	教 授	氏 名	見 尾 光 庸
実 施 日	①平成28年8月21日				
事業主催者 (依頼元)	①薬剤師あゆみの会、富永薬局				
タ イ ト ル	①抗アレルギー薬の作用機序と最近の話題				

所 属	薬学部 薬学科	職 位	教授	氏 名	中 西 徹
実 施 日	①平成28年6月14日、21日 ②平成28年9月10日 ③平成28年8月30日 ④平成28年8月26日				
事業主催者（依頼元）	①清心中学校・清心女子高校 ②岡山県生涯学習センター・人と科学の未来館サイピア ③岡山県生涯学習センター・人と科学の未来館サイピア ④岡山スーパー大学院実行委員会				
タ イ ト ル	①科学教育（講義&実験）講師 ②親子望遠鏡体験学習会講師 ③わくわく科学塾 iPS細胞観察会講師 ④iPS細胞観察会講師				

所 属	薬学部 薬学科	職 位	教授	氏 名	渡 辺 雅 彦
実 施 日	①平成28年7月16日				
事業主催者（依頼元）	①妹尾学区安全・安心ネットワーク協議会 箕島コミュニティ協議会 妹尾公民館				
タ イ ト ル	①大雨災害から命を守る				

所 属	薬学部 薬学科	職 位	准教授、助教	氏 名	増田和文、加藤久登
実 施 日	①平成29年3月11日				
事業主催者（依頼元）	①総社市教育委員会生涯学習課				
タ イ ト ル	①身近なもので電池を作ってみよう！				

所 属	薬学部 薬学科	職 位	准教授	氏 名	平 岡 修
実 施 日	①平成28年6月7日 ②平成28年7月8日 ③平成28年7月14日 ④平成28年12月3日 ⑤平成28年12月8日				
事業主催者（依頼元）	①岡山県立西大寺高校 ②岡山市立石井中学校 ③岡山県立岡山東商業高校 ④岡山市立福田小学校、福田公民館 ⑤備前市立備前片上高校				
タ イ ト ル	①薬物乱用防止教室 講師 ②薬物乱用防止教室 講師 ③薬物乱用防止教室 講師 ④「チャレンジワーク！お仕事体験教室」「薬剤師さんになろう！」 講師 ⑤薬物乱用防止教室 講師				

所 属	薬学部 薬学科	職 位	准教授	氏 名	古 林 呂 之
実 施 日	①平成28年6月19日 ②平成28年10月16日 ③平成28年12月3日				
事業主催者（依頼元）	①有限会社 富永調剤薬局 ②岡山市薬剤師会、岡山市、FM岡山 ③岡山市立福田公民館				
タ イ ト ル	①鼻腔内投与はお嫌いですか？～鼻腔内投与型医薬品の現在と未来を薬物動態から考える～ ②第5回薬物乱用防止キャンペーン「フィジカルアセスメント体験、お薬は安全が第一！（ポスター展示）」 ③チャレンジワーク お仕事体験教室 薬剤師さんになろう！				

所 属	薬学部 薬学科	職 位	講 師	氏 名	毎 熊 隆 誉
実 施 日	①平成28年12月7日 ②平成29年3月4日				
事業主催者（依頼元）	①岡山県病院薬剤師会 ②岡山市立福田公民館				
タ イ ト ル	①薬学生に対する臨床実習後OSCEに向けて ②こども大学ふくだ・薬剤師体験				

所 属	経営学部 経営学科	職 位	教 授	氏 名	谷 口 憲 治
実 施 日	①平成28年5月27日 ②平成28年7月9日				
事業主催者（依頼元）	①岡山市御南西公民館 ②吉備創生カレッジ				
タ イ ト ル	①地域の宝発見で豊かな生活—日本酒と農村文化— ②農業の六次産業化の背景と岡山県の動き				

所 属	経営学部 経営学科	職 位	教 授	氏 名	三 枝 省 三
実 施 日	①平成28年5月30日 ②平成28年7月23日 ③平成28年9月9日				
事業主催者（依頼元）	①国立大学法人琉球大学 地域連携推進機構 ②吉備創生カレッジ:『 地域創造とマネジメント 』 ③岡山市福田公民館:福田生きがいセミナー				
タ イ ト ル	①アントレプレナーシップ講座 ②日本ものづくりの生き残りへ(アップルとソニーの比較から) ③日本ものづくりの再生へ～アップルとソニーの比較から提案～				

所 属	経営学部 経営学科	職 位	教 授	氏 名	野 本 明 成
実 施 日	①平成28年6月25日				
事業主催者（依頼元）	①吉備創生カレッジ				
タ イ ト ル	①マーケティング・リサーチによる地域創生の試み				

所 属	経営学部 経営学科	職 位	教 授	氏 名	大 崎 泰 正
実 施 日	①平成28年6月18日				
事業主催者（依頼元）	①吉備創生カレッジ『 地域創造とマネジメント 』				
タ イ ト ル	①山田方谷の藩政改革と地域創生				

所 属	経営学部 経営学科	職 位	教 授	氏 名	林 俊 克
実 施 日	①平成28年4月19日 ②平成28年7月27日 ③平成28年7月30日 ④平成28年11月10日				
事業主催者（依頼元）	①岡山県立岡山操山高等学校「1年宿泊研修」基調講演 ②平成28年度岡山県産業労働部部内研修（政策立案編） ③大学コンソーシアム岡山（吉備創生カレッジ） ④津山工業高等専門学校寮生教養講座				
タ イ ト ル	①操山高校に入学された皆さんへ ②市場調査研修 ③未来を創造する会議「フューチャーセッション」 ④津山高専1年生の皆さんに送る人生のヒント				

所 属	経営学部 経営学科	職 位	准教授	氏 名	真 田 正 次
実 施 日	①平成28年7月2日				
事業主催者（依頼元）	①吉備創生カレッジ				
タ イ ト ル	①地域創造とマネジメントー会計基準の国際的統一と日本の対応ー				

所 属	経営学部 経営学科	職 位	准教授	氏 名	八 卷 恵 子
実 施 日	①平成28年12月8日				
事業主催者（依頼元）	①「記念日をすごすまち 倉敷」推進協議会				
タ イ ト ル	①『選ばれる体験プログラム ― 記念日をすごす「聖地」倉敷―』				

所 属	経営学部 経営学科	職 位	講 師	氏 名	加賀美 太 記
実 施 日	①平成28年6月25日 ②平成28年9月15日 ③平成28年9月28日 ④平成28年11月25日				
事業主催者（依頼元）	①くらしと協同の研究所 第24回総会記念シンポジウム ②地域と協同の研究センター『協同の未来塾』第9回 ③鳥取県生活協同組合理事学習会 ④鳥取県生活協同組合理事学習会				
タ イ ト ル	①地域を支える人を育てる～事業と活動を通じた協同組合の可能性 ②非営利組織のマーケティング論 ③地域社会づくりへの参加と協同組合の可能性～事業と活動を通じて～① ④地域社会づくりへの参加と協同組合の可能性～事業と活動を通じて～②				

所 属	短期大学 幼児教育学科	職 位	教 授	氏 名	澤 津 まり子
実 施 日	①平成28年7月19日 ②平成28年8月1日 ③平成28年8月20日 ④平成29年2月9日				
事業主催者（依頼元）	①岡山県立林野高等学校 ②おかやま地域子育て支援拠点ネットワーク ③就実短期大学潜在保育士復職プロジェクト研修 ④岡山労働局・岡山公共職業安定所・岡山市				
内 容（タイトル）	①職業人としての保育者の魅力 ②地域子育て支援拠点等従事者養成講座 基礎研修 ー子どもの発達をふまえた子育ての環境ー ③保育原理 ④保育の魅力				

所 属	短期大学 幼児教育学科	職 位	教 授	氏 名	笹 倉 千佳弘
実 施 日	①平成28年10月20日 ②平成28年11月12日 ③平成28年9月1日 ④平成29年2月25日				
事業主催者（依頼元）	①岡山大学大学院保健学研究科「妊娠中からの母子支援」即戦力育成プログラム 16 ②長崎県教育を語る会実行委員会 ③（公社）子ども情報研究センター・子ども人権部会 ④（公社）子ども情報研究センター・子育て連携部会（科研費調査研究報告会）				
タ イ ト ル	①「社会的ハイリスク妊産婦と彼女から生まれた子どもへの支援」 ②「『子どもの貧困』を問い直すーいま、私たちにできることは何かー」 ③「脱落型不登校児童を地域社会で支援する」, 「里親養育を地域で支援する」 ④「脱落型不登校児童のエンパワメント実現を可能とする地域社会の支援ネットワークモデル」				

所 属	短期大学 幼児教育学科	職 位	教 授	氏 名	柴 川 敏 之
実 施 日	①平成28年5月1日、6月12日 ②平成28年9月8日				
事業主催者（依頼元）	①倉敷市立美術館 ②日本保育協会青年部				
タ イ ト ル	①ワークショップ「2000年後の化石を作ろう!」の講師 ②ワークショップ「造形ワークショップ：アートを生かした造形活動」の講師 ＊第38回全国青年保育者会議岡山大会 分科会				

所 属	短期大学 幼児教育学科	職 位	講 師	氏 名	荊 木 まき子
実 施 日	①平成28年10月29日				
事業主催者（依頼元）	①大阪教育大学教職大学院				
タ イ ト ル	①「教師の学び舎」 「専門家として生きるということ」				

所 属	短期大学 幼児教育学科	職 位	講 師	氏 名	鎌 田 雅 史
実 施 日	①平成28年12月4日				
事業主催者（依頼元）	①ライフパーク倉敷				
タ イ ト ル	①やる気の心理学				

所 属	短期大学 生活実践科学科	職 位	准教授	氏 名	加 藤 美 奈 子
実 施 日	①平成28年6月25日				
事業主催者（依頼元）	①哲西牧水顕彰会				
タ イ ト ル	①与謝野寛・晶子 岡山への旅と歌				

所 属	短期大学 生活実践科学科	職 位	講 師	氏 名	小 田 奈 緒 美
実 施 日	①平成29年2月17日				
事業主催者（依頼元）	①岡山市市民生活局生活安全課消費生活センター				
タ イ ト ル	①社会を変える節約お買い物術-賢い消費者になるために-				

所 属	学生課（兼）国際交流センター	職 位	課長代理	氏 名	野 村 照 代
実 施 日	①平成28年6月4日				
事業主催者（依頼元）	①岡山キャリア教育支援ネット（SNECO）				
タ イ ト ル	①失敗しない就活・インターンシップのためのマナー講座④ —社会で生きる力を身につけよう！成功の鍵はやり抜く力！—				

『地域と歩んだ就実の軌跡—地域貢献報告書』

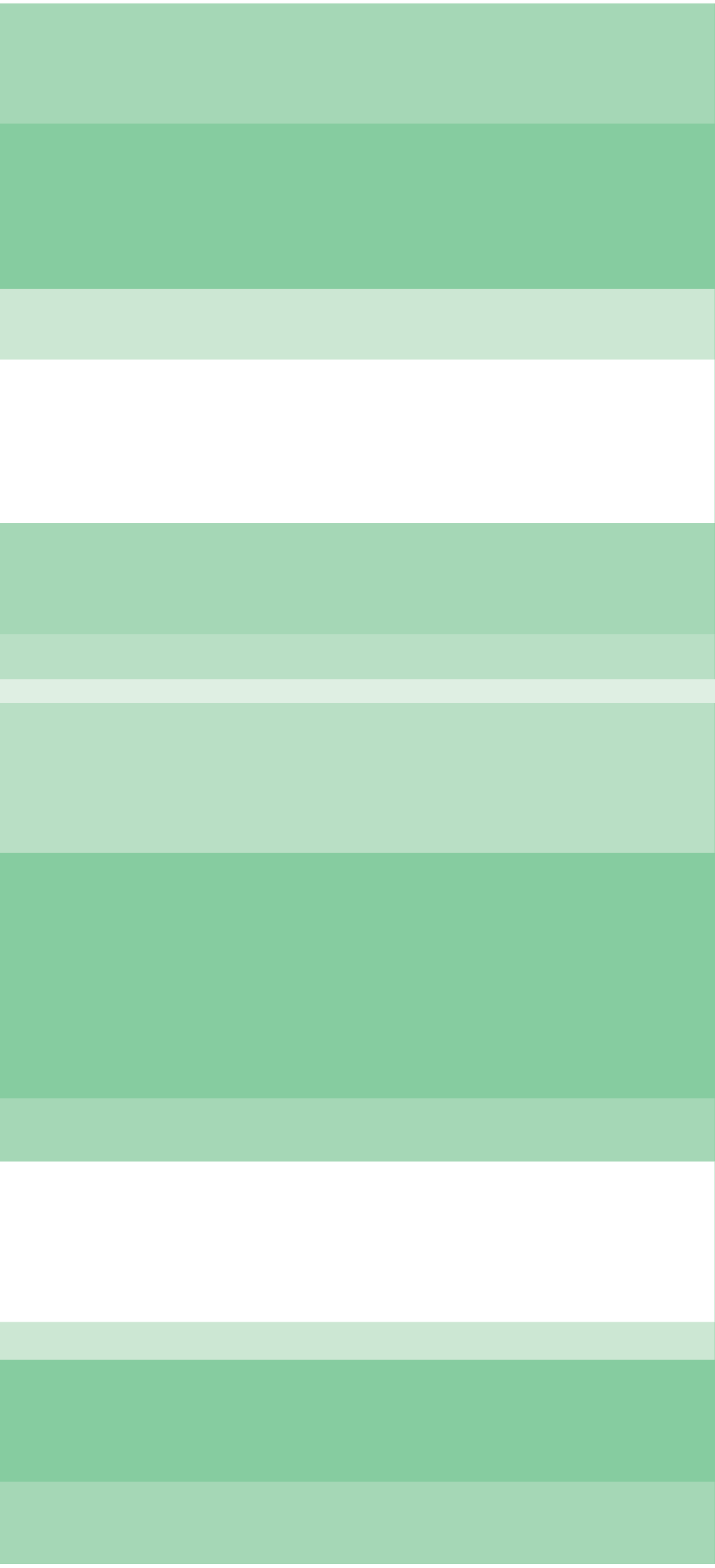
第9号

2017年4月28日

発行 就実大学・就実短期大学 地域貢献委員会
〒703-8516 岡山県岡山市中区西川原 1-6-1
Tel (086) 271-8111 (代)

発行責任者 地域貢献委員長 小野 浩重

印刷 株式会社プリント・ケイ



地
地
の
歩
み
が
あ
ら
わ
る
の
を
追
う

地
地
の
歩
み
が
あ
ら
わ
る
の
を
追
う

公
司
の
全
体
を
見
る

公
司
の
全
体
を
見
る

公
司
の
全
体
を
見
る